

科目名	体育（実技）		担当教員	田 中 葵		
			担当形態	単独		
テキスト	適宜資料を配布する。	単位数 授業形態	1単位	実技	開講時期	後期
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな体の動かし方を実践的に知り、子どもたちの手本となる動きの基本を身につけ、実演できる。</li> <li>・多様な動きを経験できる運動遊びの展開方法や援助の方法を理解し、実践に適用できる。</li> </ul> <p><b>■授業の概要</b></p> <p>本授業では、子どもたちと共に体を動かし、子どもの身体活動を促進する人として、運動における基本的な知識と技能を身につけます。さらに、子どもの心身の発達を促す運動遊びの知識や展開方法について実践的に学び、なぜそのような運動が必要なのか、運動によって何が育まれるのかを考えていきます。また、自分たちで運動遊びの展開方法を考えて実践し、子どもたちが楽しく体を動かし、かつ多様な動きを経験できるような援助の方法を学び合っていきます。</p> <p><b>■授業計画</b></p> <p>第1回 オリエンテーション：幼児期における運動の意義、子どもたちの遊びと運動との関係          第2回 制作から運動遊びへの展開：移動する動き          第3回 制作から運動遊びへの展開：物を操作する動き          第4回 縄を使った遊び          第5回 固定遊具を使った遊び：遊具の特性、遊具を使った遊び、遊具の配置          第6回 フープを使った遊び          第7回 ボールを使った遊び          第8回 パラバルーンを使った遊び          第9回 ダンス          第10回 遊具を使わない遊び          第11回 模擬保育に向けた準備          第12回 運動遊びの模擬保育 グループ1による実践及びフィードバック          第13回 運動遊びの模擬保育 グループ2による実践及びフィードバック          第14回 運動遊びの模擬保育 グループ3による実践及びフィードバック          第15回 幼児期における運動の意義及び保育者としての留意点、まとめ</p> <p><b>■準備学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で取り入れた技能について自己練習をすること。</li> <li>・運動遊びの模擬保育に向けて、グループでの打ち合わせ及び自己練習をしておくこと。・授業毎に、授業内で取り扱われた内容について考察し、ミニレポートを提出すること。</li> </ul> <p><b>■評価方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な動きの習得 — 20%</li> <li>・授業での取り組み（実技への積極的な取り組み） — 50%</li> <li>・模擬保育 — 30%</li> </ul>						
参考文献	斉藤孝「自然体のつくり方」太郎次郎社 2001. 文部科学省「幼児期運動指針」 2012. 中村和彦「子どものからだは危ない！ - 今日からできる からだづくり -」日本標準 2004. その他、授業で随時紹介する。		特記事項	・毎授業、動きやすい服装と上履きを着用して参加すること。 【課題等のフィードバック方法】 ・模擬授業での発表には各グループごとにフィードバックを行う。 ・提出されたミニレポートにはコメント等を書き加え返却する。		
				卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必須 保育士資格必修	幼保